



株式会社 トラスト・テック

2016年6月期 第2四半期決算
会社説明会資料



**2016年6月期（第12期）
第2四半期決算概要**

前年同期比で「2桁増収」「2桁増益」を達成 2015年8月に発表した期初計画を上回る成長

単位：百万円

	2015年6月期（11期） 第2四半期		2016年6月期（12期） 第2四半期		増減額	前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	9,918	100.0%	14,545	100.0%	+4,627	+46.7%
営業利益	655	6.6%	1,107	7.6%	+452	+69.0%
経常利益	670	6.8%	1,103	7.6%	+433	+64.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	423	4.3%	643	4.4%	+219	+51.8%

第2四半期において、技術系領域で2社1事業部のM&Aを実施 既存事業の成長に加えM&Aによるグループ業容の拡大を推進

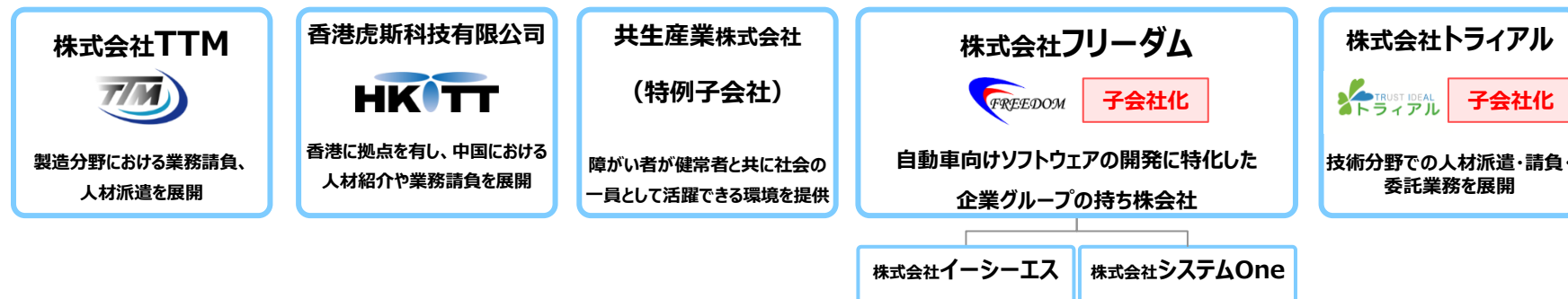
2016年2月現在

株式会社トラスト・テック

テクニカルソリューション事業部

事業譲受

正社員雇用による技術領域に於ける人材派遣・請負・受託・人材紹介事業を展開



株式会社フリーダム (2015年7月 子会社化)

主に大手自動車部品メーカーを取引先とした自動車向けソフトウェア（カーナビゲーション、ハイブリッドシステム、オートマチックトランスミッション、ECU等の制御）の開発に特化した企業グループの持ち株会社です。
 今後は、株式会社フリーダムを当社グループの制御ソフト分野成長戦略の核としソフトウェア開発領域の更なる業容の拡大を行います。

テクニカルソリューション事業部 (2015年7月 事業譲受)

NTTデータグループである株式会社テクノパワーよりIT領域の事業部門（サーバーやネットワーク等のIT技術部門）をテクニカルソリューション事業部として譲受いたしました。
 IT領域における事業の新たな成長の核の一つに位置付けてサービス拡大を行います。

株式会社トライアル (2015年10月 子会社化)

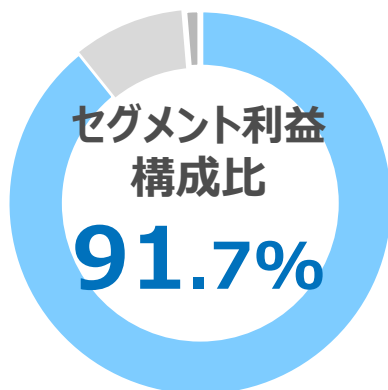
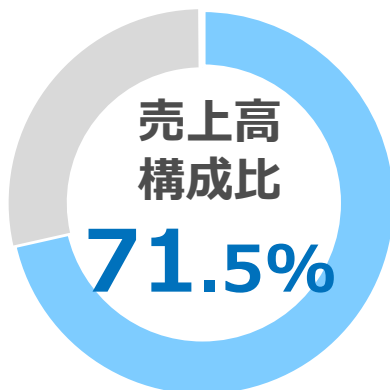
技術者派遣事業を展開している旧株式会社カナモトエンジニアリング（株式会社カナモト[東証一部]の子会社）を子会社化いたしました。
 新たに社名を『株式会社トライアル』に変更し、当社の技術系領域の業容拡大を目指します。

技術系領域

研究・開発

設計・解析

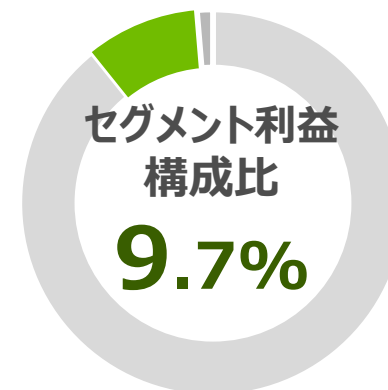
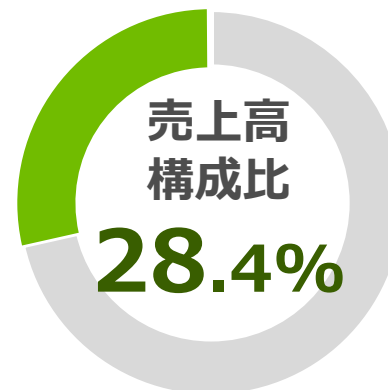
試作・実験
生産技術



製造系領域

量産
組立・加工

仕上げ・
検査、出荷



報告セグメントの区分変更について

当社グループの業容拡大及び不動産賃貸事業の終了に伴い、2016年6月期 第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を以下のとおり統合、名称変更しております。

旧区分（2015年6月期[11期]まで）

● 技術者派遣・請負・委託事業

● 製造請負・受託・派遣事業

● 不動産賃貸事業

● 障がい者雇用促進事業

名称変更のみ

名称変更のみ

現行（2016年6月期[12期]第1四半期から）

● 技術系領域 [報告セグメント]

● 製造系領域 [報告セグメント]

● その他 [報告セグメントに含まれない領域]
・障がい者雇用事業

※売上構成比率、セグメント構成比率は2016年6月期第2四半期時点での数値となります。
※セグメント利益構成比は連結経常利益に占める構成比を記載しております。

■ 技術系領域

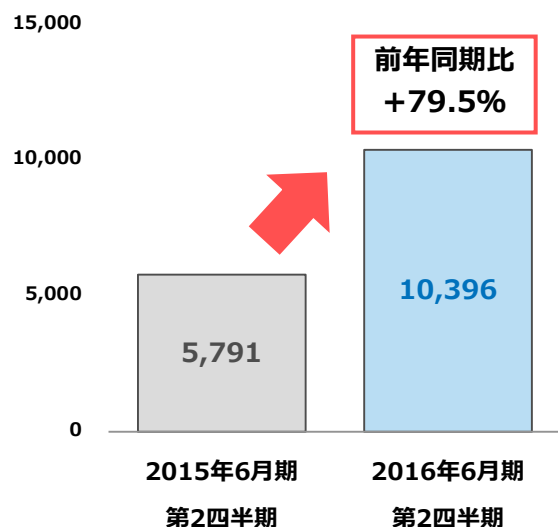
増収 増益

売上高 : 103.9億円 前期同期比 +79.5%
 セグメント利益 : 10.1億円 前期同期比 +80.6%

- ・輸送用機器、電気機器、機械を中心に人材の引合いが堅調
- ・M&Aによる2社1事業部が当第2四半期より業績に寄与

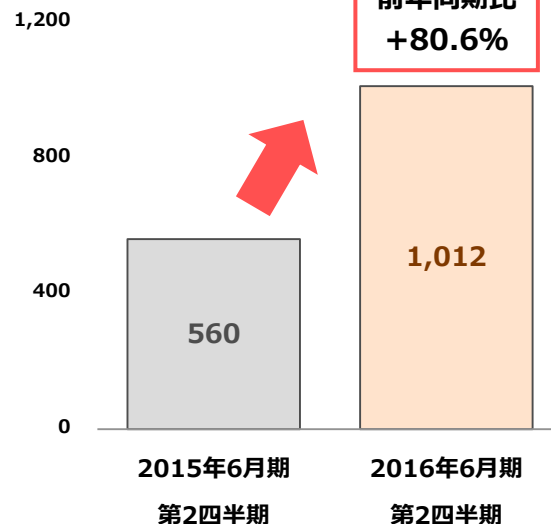
◆ 売上高

(単位: 百万円)



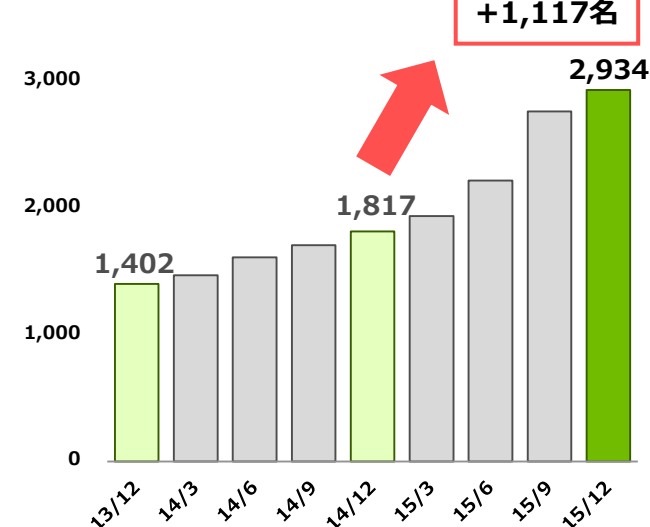
◆ セグメント利益

(単位: 百万円)



◆ 技術社員数

(単位: 名)



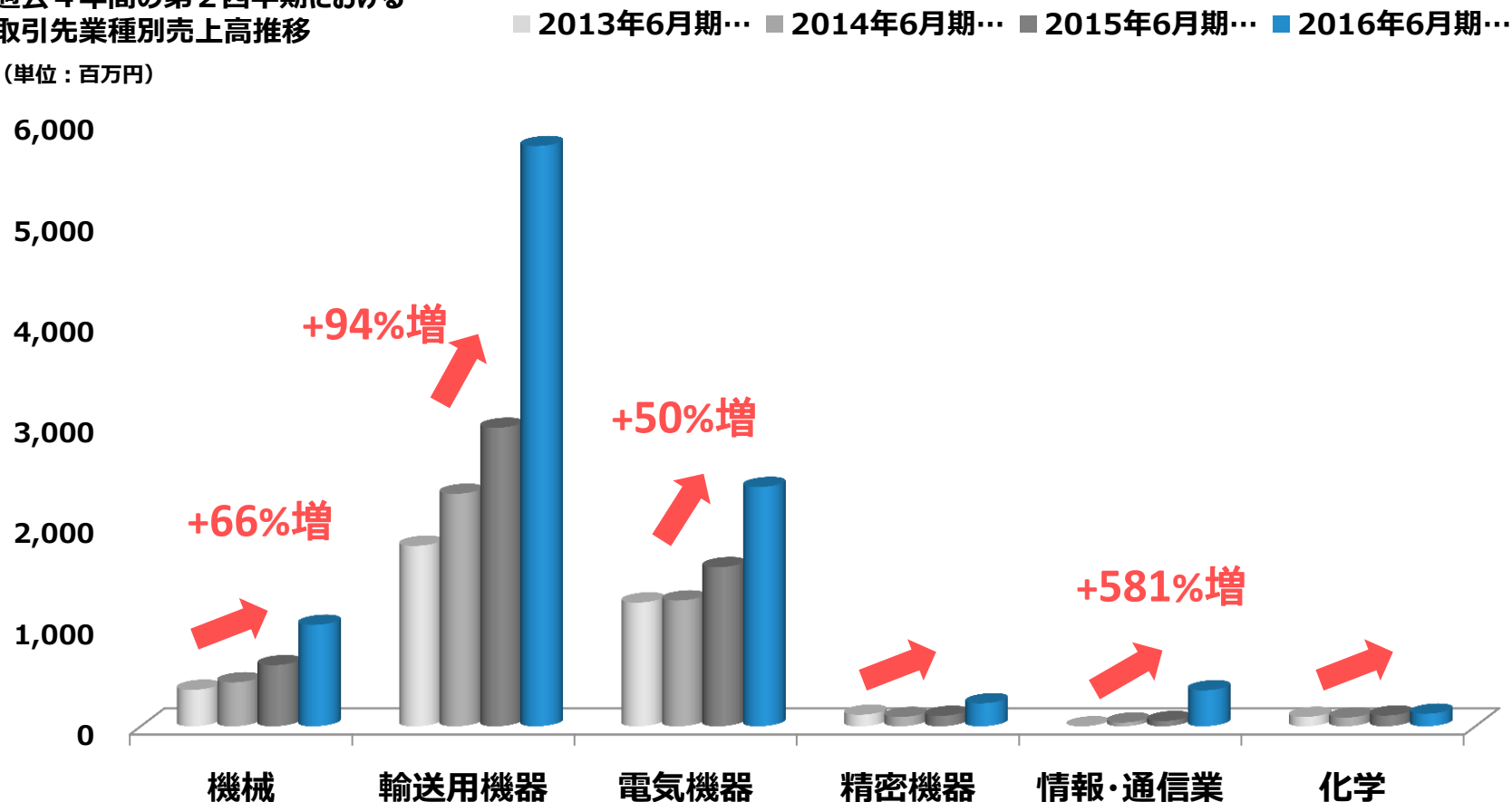
※前第2四半期累計期間のセグメントごとの売上高及びセグメント利益は、変更後のセグメント区分に基づき作成し記載しております。

■ 技術系領域

輸送用機器を中心に各業種で売上が伸長 輸送用機器には自動車向けSW開発のM&Aも寄与

過去4年間の第2四半期における
取引先業種別売上高推移

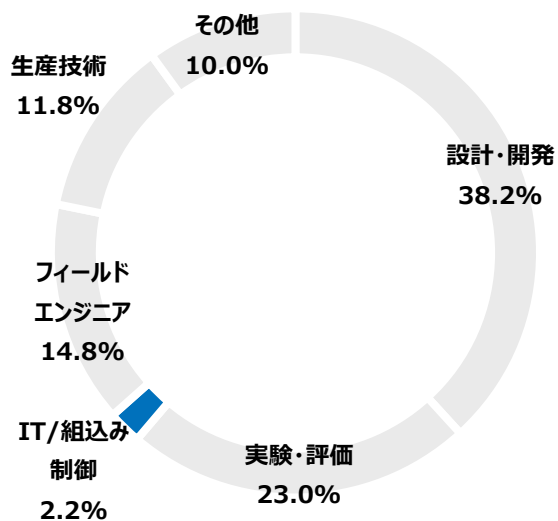
(単位：百万円)



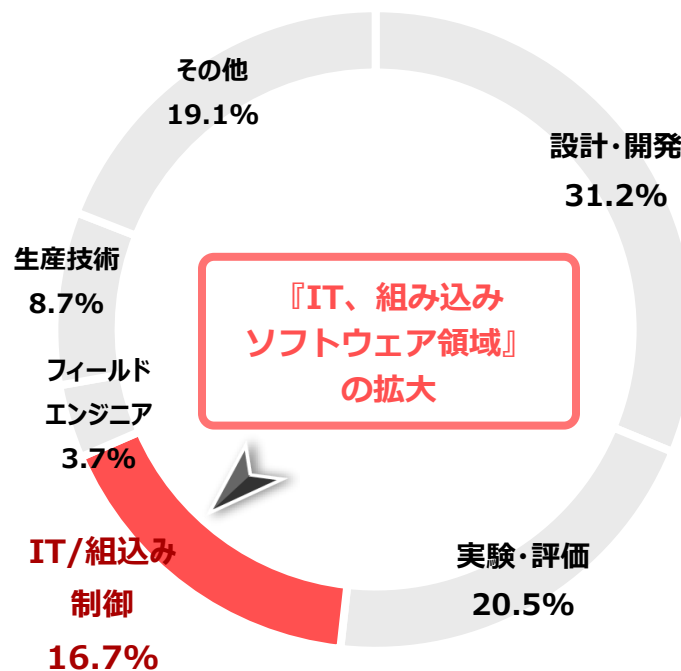
■ 技術系領域

M&Aにより、IT・ソフトウェア（制御・組込み）分野の取引および市場シェアを拡大

2015年6月末の
技術領域の技術者構成比



2015年12月末の
技術領域の技術者構成比



※技術者構成比は、2014年12月末及び2015年12月末現在の社員構成より算出

■ 製造系領域

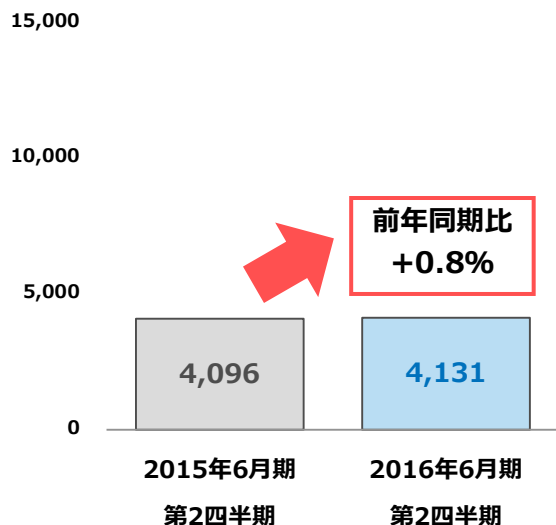
増収 減益

売上高 : 41.3億円 前期同期比 +0.8%
 セグメント利益 : 1.0億円 前期同期比 ▲1.4%

- ・繁忙業種からの受注を増加させ売上高を維持・拡大
- ・生産性の向上など、利益体質確立への取り組みを促進

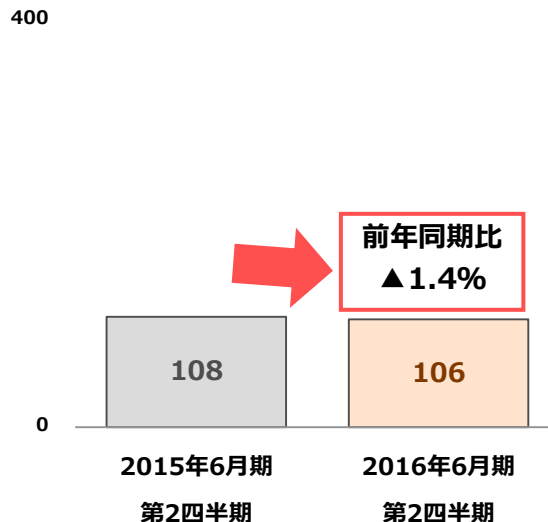
◆売上高

(単位：百万円)



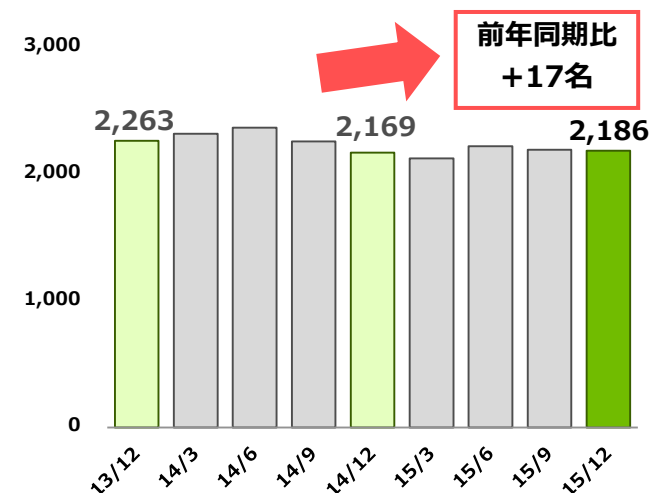
◆セグメント利益

(単位：百万円)




◆技能社員数

(単位：名)



※前第2四半期累計期間のセグメントごとの売上高及びセグメント利益は、変更後のセグメント区分に基づき作成し記載しております。



**2016年6月期（第12期）
通期業績見通し**

売上高、利益ともに上方修正 技術系領域での業績の拡大を見込む

単位：百万円

	2015年6月期 (11期)		2016年6月期 (12期)					
			前回予想 (2015/8/7発表)		修正業績予想 (2016/2/12発表)		前回予想比	前期比
	実績	構成比	予想	構成比	予想	構成比		
売上高	20,819	100.0%	28,500	100.0%	30,000	100.0%	+1,500 (+5.3%)	+9,180 (+44.1%)
営業利益	1,597	7.7%	2,300	8.1%	2,500	8.3%	+200 (+8.7%)	+902 (+56.5%)
経常利益	1,623	7.8%	2,300	8.1%	2,500	8.3%	+200 (+8.7%)	+876 (+54.0%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,024	4.9%	1,450	5.1%	1,500	5.0%	+50 (+3.4%)	+475 (+46.4%)

■ 技術系領域

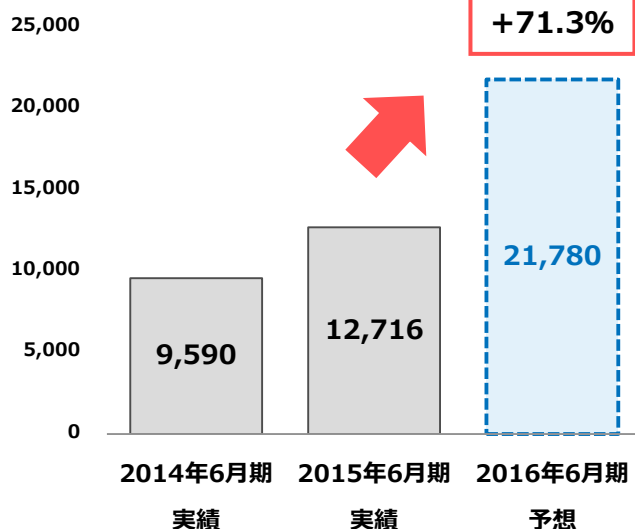
増収 増益

売上高 : 217.8億円 前期比 +71.3%
 セグメント利益 : 22.9億円 前期比 +58.7%

- ① 引き続き自動車関連企業を中心に引合い増加を想定
- ② 中途・新卒の積極採用に加え、来期業績の拡大施策へも投資を加速

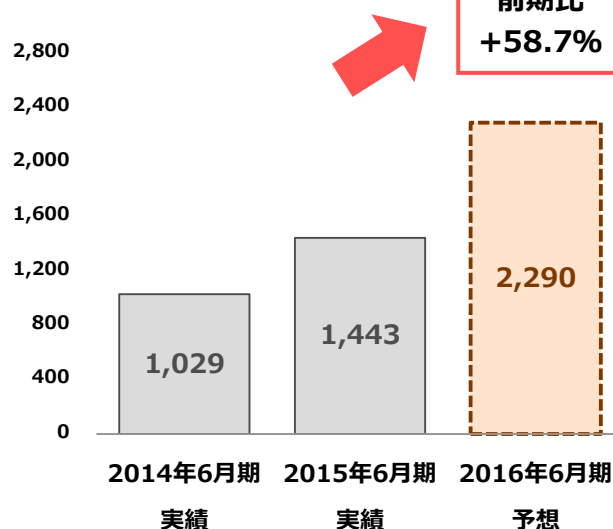
◆ 売上高

(単位: 百万円)



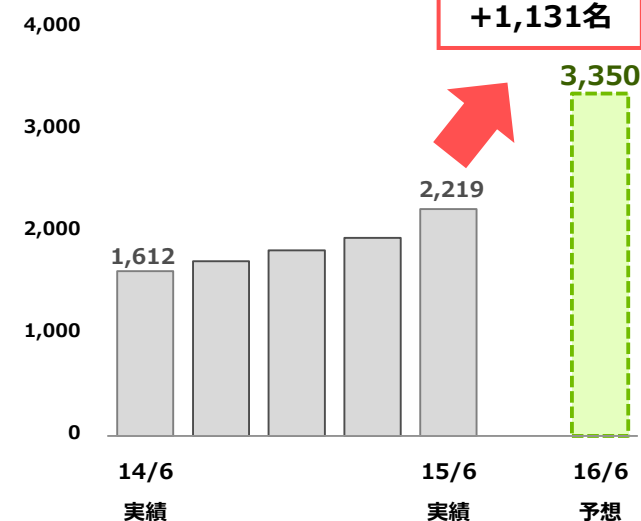
◆ セグメント利益

(単位: 百万円)



◆ 技術社員数

(単位: 名)



■ 製造系領域

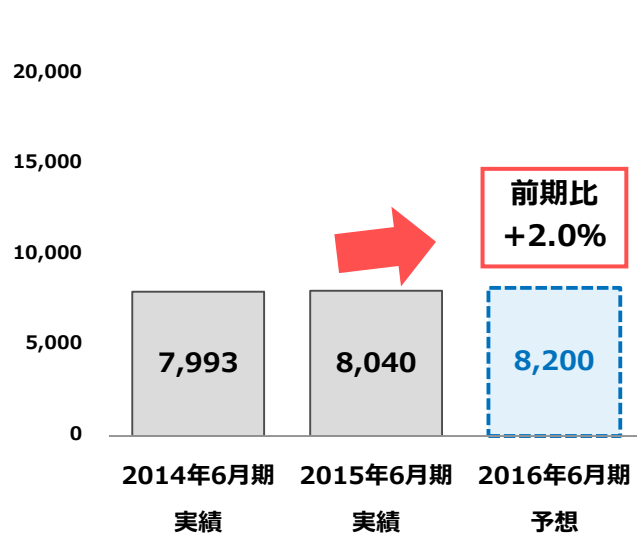
増収 増益

売上高 : 82.0億円 前期比 +2.0%
 セグメント利益 : 2.7億円 前期比 +49.8%

- ① 高付加価値案件の受注拡大、採用マッチングの効率化を実現
- ② 固定コストの圧縮や費用対効果の精査により利益体質を構築

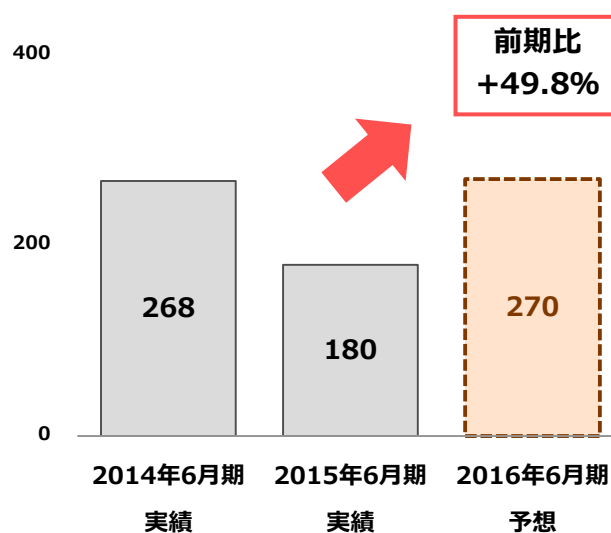
◆売上高

(単位: 百万円)



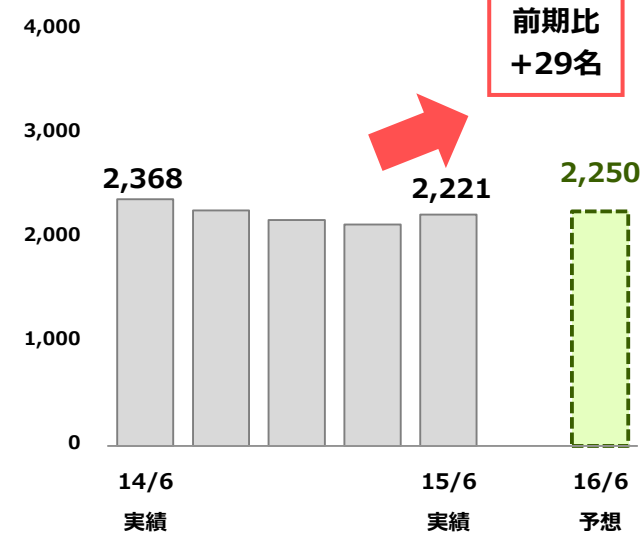
◆セグメント利益

(単位: 百万円)



◆技能社員数

(単位: 名)





利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆さまへの利益配分を重要な経営課題と認識し、安定的な配当の実施を基本としながら、当社グループの今後の発展と企業体質の強化のための内部留保を行いつつ、業績に応じた配当を加味することとしております。

株式分割について

当社は2016年4月1日付で、
普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

分割比率 1:2

分割基準日

2016年3月31日(木)

効力発生日

2016年4月1日(金)

期末配当について

今回の株式分割及び通期業績予想の修正を踏まえ、2016年6月期の期末配当は当初予想から増配し25円00銭となる予定です。(株式分割を考慮しない場合は、2016年6月期の期末の配当金は50円00銭、中間配当と合わせ年間配当金は80円00銭となります)

株式分割後

1株当たり配当金	第2四半期末	期末	年間
2015年6月期	12円50銭 (実績)	17円50銭 (実績)	30円00銭 (実績)
前回予想 (2015年8月7日発表)	↓	↓	↓
今回修正予想 (2016年2月12日発表)	15円00銭 (実績)	22円50銭 (予想)	37円50銭 (予想)
		↓	↓
		25円00銭 (予想)	40円00銭 (予想)

株式分割を考慮しない場合

1株当たり配当金	第2四半期末	期末	年間
2015年6月期	25円00銭 (実績)	35円00銭 (実績)	60円00銭 (実績)
前回予想 (2015年8月7日発表)	↓	↓	↓
今回修正予想 (2016年2月12日発表)	30円00銭 (実績)	45円00銭 (予想)	75円00銭 (予想)
		↓	↓
		50円00銭 (予想)	80円00銭 (予想)



中期経営計画

「技術系領域」を軸に領域・業容を拡大し、利益率の向上と安定的な株主還元を行う。

● 技術系領域

既存分野（機械・電気分野）

- ・ 社員数の拡大（中途・新卒の積極採用）
- ・ 採用/営業/開発等の体制強化

開拓分野

- ・ M&AによるIT・ソフトウェア関連事業の強化・拡充

● 製造系領域

- ・ 全体の業務量拡大と請負強化での利益改善

前期までの取
り組み

- ▶ 既存分野で高い成長率を発揮し、連結売上高200億円を達成
- ▶ M&Aで今期以降の成長の柱を準備



- ・ 高い採用ペースの維持（新卒・中途）
- ・ 採用後の定着・再配属促進

- ・ グループ化したIT・ソフトウェア関連事業の成長加速（事業シナジー）



- ・ 収益体質の再強化と、安定的な事業成長の両立

今後以降の
方向性

- ▶ 自立成長とM&Aを両輪とし「年率20%以上の成長スピード維持」
- ▶ 「連結営業利益率10%の達成」を目指す

本資料は、当社の企業説明の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された推測や予測等は、本資料作成時点における当社の判断であり、情報の正確性を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更される場合があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知ください。

(お問い合わせ先)

株式会社トラスト・テック 経営企画部

TEL 03-5777-7727

E-mail ir@trust-tech.jp

URL <http://www.trust-tech.jp>



參考資料

(単位：百万円)

	2015年6月末	2015年12月末	
	実績	実績	増減額
資産	7,725	10,781	+3,056
流動資産	6,551	7,824	+1,272
固定資産	1,174	2,957	+1,783
負債	3,319	6,066	+2,746
流動負債	3,287	5,993	+2,706
固定負債	32	72	+41
純資産	4,406	4,715	+305
株主資本	4,410	4,715	+305

①無形固定資産
・のれんの増加
②投資その他の資産
・相模原ビル売却により、
投資不動産が減少

①短期借入金
・買収資金の銀行借入増加

自己資本比率：57.0%

自己資本比率：43.7%

単位：百万円

		2015年6月期 (11期)	2016年6月期 (12期)	増減額	前期比
		実績	見通し		
技術系領域	売上高	12,716	21,780	+9,063	+71.3%
	セグメント利益	1,443	2,290	+846	+58.7%
	利益率	11.3%	10.5%	-	-
	技術社員数	2,219名	3,350名	+1,181名	+51.0%
製造系領域	売上高	8,040	8,200	+159	+2.0%
	セグメント利益	180	270	+89	+49.8%
	利益率	2.2%	3.3%	-	-
	技能社員数	2,221名	2,250名	+29名	+1.3%
その他	売上高 ※1	85	42	△43	△50.2%
	セグメント利益	△0	△62	△62	-
	利益率	-	-	-	-
調整額 (※1)	売上高 ※1	△23	△23	+0	-
	セグメント利益	-	-	-	-

※1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。